

01-1 事業計画書補足資料について

事業計画書補足資料には以下の情報等を含め記載してください。

- ① 事業の背景、社会課題(当該課題に関する行政の取組状況や関連制度についても記載)
- ② 事業の実施体制、関係者、相関図
- ③ 事業概要、事業スキーム、ロジックモデル等
- ④ (過去申請事業と同一、または類似内容の場合)過去申請事業との相違点、変更点、相違点

※過去申請・未採択事業の場合はこれまでの申請内容との変更点を、過去採択事業と類似内容の場合は新規性やこれまでの成果の活用予定等について具体的に説明してください。

- ⑤ 資金分配団体の事業経費イメージ
- ⑥ 実行団体の公募イメージ(対象地域、実行団体数、団体要件、実行団体への助成額)
- ⑦ 実行団体の助成金使途イメージ(一つの実行団体への助成額における支出想定)
- ⑧ (助成額の目安を超過する場合)目安額を超過する理由とその効果 ※通常枠のみ

※なぜ目安額を超えた申請が必要か、その具体的な理由と、超過により期待する成果や効果を明確に記載してください。
※目安額については公募要領「2章助成対象となる事業」内の「02助成対象事業」または「[休眠預金活用プラットフォーム公募ページ](#)」をご参照ください。

- ⑨ (複数事業を申請する場合)申請事業の優先順位を記載。あわせて、同時に複数事業が採択された場合に、どのように体制を整え、人員をどの程度確保できるのか(役割分担、専任・兼任の割合など)を具体的に説明してください。

※本資料はPDF形式でご提出ください。なお、本資料は参考資料として提出いただくため、情報公開の対象外です。

※申請団体面談実施時には本資料を用いてご説明ください。

※提出後の差し替えはできません。